

シリーズ

会員企業を訪ねて～住友大阪セメント(株)岐阜工場～

今回から5回に渡り、労働安全衛生活動に熱心に取り組んでおられる会員企業を訪問し、その活動をご紹介しますこととしました。

5月22日(火)に早川青年部会員(株)新木村と佐藤事務局長が取材しました。

今回訪問したのは、本巢市にあります住友大阪セメント(株)岐阜工場です。この工場は、1960年(昭和35年)から稼働し、普通ポルトランドセメント、高炉セメント等を年間約110万トン出荷しており、従業員は94名、関連会社の従業員が約100名常時作業しており、年6回のキルン*1の定期点検時にはさらに、100名ほどの作業員が業務に従事することとなる規模の大きな工場です。

労働安全衛生活動について、片岡副工場長と廣島生産課長さんにお話を伺いました。



【片岡副工場長】

*片岡氏は、6月28日から工場長となられています。



【廣島生産課長】

◆労働安全衛生体制について

総括安全衛生管理者(工場長)の下、管理職6名と従業員の労組代表6名から成る安全衛生委員会(委員長：廣島生産課長)が設置されており、安全衛生委員長が年間活動計画を作成し委員会に諮問することとなっています。また、より現場に近い職員から成る安全衛生推進委員会があり、24時間稼働のため5班(1班：6名)で3交替体制を取っているとのこと。

安全衛生活動方針を分かりやすく周知するため、別添のようにチラシを配付しているとのことでした。工場スローガンは『ゼロ災の継続！私は絶対に怪我をしません・させません』、今年の年間安全宣言は、「私たちは指差呼称を必ず実施します。(現場・電気室のスイッチ操作、修理札の掛け、外し時)」です。

◆労働安全衛生活動について

・安全衛生パトロール体制は、次のように3つのパトロールを中心として行われています。

1) デイリーパトロール…管理職と若手職員2名が交代で毎日行う。

*1 キルンは、主にセメント製造などの窯業に使用される回転式の窯。

最高1,450℃以上の高温でセメント原料を反応(焼成)させ、セメントの中間製品であるクリンカーを製造する装置、住友大阪セメント(株)岐阜工場には、2基のロータリーキルンがある。

- 不安全状態がないか、また不安全行動をしていないか点検を行い見かけたら、問題点を指摘し対策を指示する。
 - 特に、岐阜工場独自の「パトローラー声かけシート」(別添、参照)を作成し、「現在、行っている作業で安全上絶対にしては、いけないことは何か。」を質問する。
 - パトローラーのアドバイスは、より安全優先で作業ができるように具体的な指示で行っている。
- 2) 月例パトロール…主に不安全箇所の点検を行い安全衛生協力会(協力会社)を含めた5班集体で月に1回パトロールを行う。
- 3) 休転パトロール…キルンの定期点検整備時に安全衛生協力会(協力会社)と共に行う。
 - キルンの整備点検時には、外部からの従業者が、工場内で作業を行うこととなるため、「入場者安全教育資料」(A3版1頁)を外部からの作業者に渡している。

安全教育資料には、

例えば、エアシャワーを使用する時の注意点として、過去に尻に高圧のエアシャワーが当たり腸に空気が入って内臓破裂した事故等を踏まえ「圧力は、0.2MPa以下とすること。」

機械の洗浄を行うための有機溶剤を、作業衣に付着した油污れの洗浄に使用しようとした際、タバコから有機溶剤に引火し火傷を負った事故を踏まえ「有機溶剤は、作業衣の洗浄には使用しない。」

といった具体的な解説がされており、「安全体験ルーム」と合わせて安全教育をされました。

- デイリーパトロール、声かけシートの報告書は、バインダーに綴じられ安全対策に役立っているとのことです。

◆研修体制について

- 全従業員に対する研修

経験年数2年以下の職員に対しては、上記の入場者教育を行うとともに、月1回は、緑十字安全集会(全従業員と協力会社から成る)の開催、その他に警察署・消防署・市役所から講師を招いて交通安全、AEDの使い方、禁煙等について講習を受けている。

最近話題になっている「あおり運転等」については、月に1回行われる「安全輸送会議」で、交通安全マナー、あおり運転対策としてのドライブレコーダー設置についての依頼等を行っている。(産業廃棄物搭載の車両、セメント搭載の車両等一日当たり500台を越える大型車両が出入りしているとのことです。)

- 特定業務従事者に対する研修

年間スケジュールを立てて行っている。生産課でいうと、フォークリフト、玉掛け、高圧

ガス等について外部研修を受けさせているとのことです。

- 職長・管理職に対する研修

住友大阪セメント(株)が会社で行っている年2回、2日間の職長・班長向けの研修では、本社が主催して全国5工場が当番制で開催場所研修を受け持ち行っています。

また、セメント協会の研修もあるとのことです。

◆現場での労働安全衛生活動

- 朝礼は、各職長・所長・監督が中心となって、毎朝必ず行っており生産課長等管理職も各現場の朝礼に立ち会う体制となっています。

特に、必要があれば、生産課長から各担当に文書で指示することもあるとのことです。

- これから夏にかけての熱中症対策について伺いました。

野外での作業が多いため、クールジェットの設置、氷嚢をクーラーボックスに入れて作業現場に置く、30分に一回は休憩することとする、塩分補給対策として塩飴等を配付、体調チェックシートを作業員に書いて提出してもらう等の対策をされています。

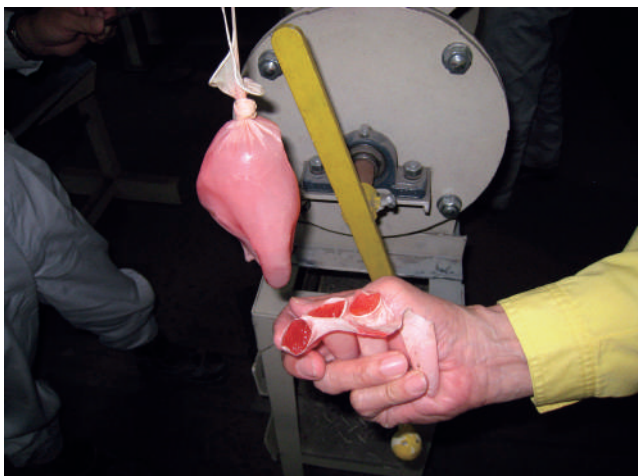
体調チェックシートについては、なかなか正直に提出しづらいのではないかと伺ったところ、チェックシートを提出する機会を設けることが大事であり、場合によっては、補助者に指示したり、作業からはずれてもらうこともできる。そうしたことは、あまりないが、体調を申し出る機会を提供することによって安全管理につながっていくという説明がありました。

◆安全体感ルームの見学

最後に、構内にある「安全体感ルーム」を案内していただきました。

労働災害の怖さを実感することができるよう、挟まれ、巻き込まれ、落下等さまざまな危険について体験できるよう装置、パネルが配置してあります。

ご覧のようにゴム手袋(水を入れて凍らせている)が、簡単に切断され、これが人の手だと思いと恐怖を感じた次第です。



【ゴム手袋に水を入れて凍らせたものを右上手の回転ローラーに入れた結果です。見事に？切断され恐怖で凍りつきました。】

労働安全衛生

その他、段差のある階段の上り下りで足下の危険を体験する装置、巻き込まれの体験用ベルトコンベアー(セメント製造工場のためか、コンベアーがベルト式・スクリュュー式等各種あって体験できるようになっています。)、事故例のパネル等があり経験の浅い入場者を始め、有意義な体験ルームであると実感できました。



【段差を設けてある階段を上っています。手すりを使い、三点支持を行いながら登るのが基本、これは悪い見本です。】

【ご覧のように、岐阜工場で発生した巻き込まれ事故がパネルで展示されています。BCとは、ベルトコンベアーの略語です。】

岐阜工場でのBC巻き込まれ災害

2011年7月9日 原料マルチ引出総合BC 右上肢圧座創 休業29日
BCより異音発生の為浸透潤滑剤塗布したが音が収まらずハンマリングで点検を実施。自動調芯キャリアローラーをハンマリングした際にハンマーごと右腕を巻き込まれた

2013年10月20日 石灰石受入NO3BCテール部 右手親指創傷 不休
BCドラムに付着した泥を除去しようと運転中のBCにハンマリングを行ったところ、反動で隣接するキャリアローラーとベルトの間にハンマーと右手を巻き込まれた

運転中の機器には手を出さない！！

作業する時は必ず機器を停止する事

● 最後に、廣島生産課長さんから岐阜工場の安全衛生活動についてコメントをいただきましたので紹介します。

安全に厳しい工場として災害ゼロを目指し、特に重篤な災害を絶対に起こさせないように活動しています。

自分も仲間も外部入場者の方々も怪我をしてもさせてもいけません。今年から1年間を通して必ず実施することを宣言するという取り組みを始め、昨年の反省から『私たちは指差呼称を必ず実施します。』とし定着化に向けて進めています。現場の作業でリスクのない作業はありません。これからも種々の安全衛生活動を通して工場で働く全従業員と設備の安全レベルを向上すべく熱意を持って粘り強く実施していきます。

ご安全に

2018年労働安全衛生活動方針

2018年1月1日
安全衛生委員会

工場スローガン

『ゼロ災の継続！ 私は絶対に怪我をしません・させません』

1. 長期重点基本方針

(1) 安全について

- ①従業員の人間性を尊重し「安全第一」を基本理念とし「安全に厳しい風土造り」を推進する
- ②安全衛生水準の向上と、継続的な活動と改善を推進し、生産効率の向上を図る

(2) 衛生について

- ①「健康保持増進」を基本に快適な作業環境の形成を促進する
- ②心と体の健康づくりを推進する為、職場の環境改善を図る

2. 重点実施項目

『岐阜工場の年間安全宣言』

私たちは指差呼称を必ず実施します。(現場・電気室のスイッチ操作、修理札の掛け、外し時)

実施項目	活動内容	備考
(1)安全衛生意識の向上 ※危険要因の排除	①安全組織活動の強化・充実(重篤な災害は絶対に起こさない) ・組織としての年間宣言「これを必ず実行する」 ⇒「私たちは指差呼称を必ず実施します」 ・朝礼時 現場責任者から重篤な災害防止対策の指示 ・作業前のK Y Mの実施 ・K Y Mへの参加と具体的な指導(管理職、スタッフ、事務局) ②緑十字安全衛生集会の開催 ③各職場 行動目標宣言実施 ④作業手順書の読み合わせ、再確認の実施 ⑤毎朝の「安全放送」の継続実施	毎月総括安全衛生管理者等の訓話 危険ポイントの再確認 全工場従業員で実施
(2)安全教育の徹底 ※人材の育成	①安全体感教育の推進 ・外部入場者全員への教育 ・教育のレベルアップ[資格者充実(安全協力会等)、体感設備充実] ②班長指導方針案の実施・若手社員への教育継続 ③職長・班長再教育の実施・講習会への参加(外部・内部) ④作業手順の各課見直し継続・新規作成 ⑤リスクアセスメントの推進	セメント協会・RSTトレーナー 作業基準小委員会
(3)安全に厳しい風土造り ※組織の強化	①安全衛生委員会・推進委員会の開催 ②職場安全会議の充実 ③月例パトロール実施とフォロー会議による進捗確認 ④デイリーパトロールの実施とフォロー	
(4)模範部署への表敬	①模範社員・ちょっとした感心賞の表彰継続 ②優秀職場等への表彰継続	
(5)心と体の健康づくり [和をもって貴しとなす]	①有所見者に対するフォロー(事後処置・健康指導等) ②場内分煙ルールの定着 ③メンタルヘルスケアの充実(ストレスチェック実施) ④緊急救命講習(A E D操作)	産業医・健康機関 企画教育部会
(6)作業環境の適正化 ※作業環境改善	①適正保護具の着用 ②美化コンクールの実施 ③職場単位の月例5 S活動実施 ④衛生パトロールとフォロー	衛生部会 2回/年 美化小委員会 衛生部会
(7)交通災害の撲滅 ※通勤路上災害の撲滅 ※場内通行車両の事故防止	①原燃・リサイクル関係搬入業者の安全確認(シートベルト・携帯電話・一旦停止) ②交通安全講和・研修会等による啓蒙 ③場内交通ルール遵守状況の確認 ④歩きスマホ 禁止の啓蒙	業務課 企画教育部会 企画教育部会 企画教育部会
(8)防火対策 ※防火管理の徹底	①火災予防自主検査及び定期検査の実施 ②防火模擬訓練の実施 ③可燃物堆積防止(掃除の徹底)	定期 1回/半年 1回/年
(9)その他 ※安全衛生関係	①移動用電動工具・電気機器検査制度運用の定着 ②安全・衛生標語募集	

住友大阪セメント株式会社岐阜工場

安全衛生パトロール「パトローラー声かけシート」

パトロール実施日 年 月 日 パトロール実施者：
*①、②内の質問項目2点全てを質問して下さい(アドバイスも必須)。 *①、②の質問は複数の作業場で各1名でも、1つ作業場で複数名に対してでも構いません。 *①、②の質問は作業責任者・安全担当者以外の人に質問を行って下さい。 ※少人数での作業の場合は、責任者・担当者でも構いません。
① 声かけ対象者 所属： 氏名： 作業内容(場所)：
Q 1. 現在行っている作業で安全上絶対してはいけないことは何ですか？(いけない理由も) ×「怪我をするので、転落してはいけない」(意識的に行う行動ではない) ◎「落下時の衝撃が増すので、 <u>安全帯親綱を腰下でかけない</u> 」(意識的に行う行動) ⇒ _____ * パトローラーからの作業についてのアドバイス(具体的に指示した行動を記入) ×「足元に注意して下さい」(具体性無し) ◎「足元のホースを整理整頓して下さい」(具体的行動) ⇒ _____
※ 実作業員への質問(KYボードの作業責任者・安全担当者以外の人) 本日の作業の4R決定事項を言って下さい _____
② 声かけ対象者 所属： 氏名： 作業内容(場所)：
Q 1. 現在行っている作業で安全上絶対してはいけないことは何ですか？(いけない理由も) ×「火傷をするので、噴き出しを浴びてはいけない」(意識的に行う行動ではない) ◎「原料が噴き出すので、 <u>点検口を正面から開けてはいけない</u> 」(意識的に行う行動) ⇒ _____ * パトローラーからの作業についてのアドバイス(具体的に指示した行動を記入) ×「熱中症に気をつけて下さい」(具体性無し) ◎「計画的に水分・塩分補給をして下さい」(具体的行動) ⇒ _____
※ 実作業員への質問(KYボードの作業責任者・安全担当者以外の人) 本日の作業の4R決定事項を言って下さい _____